

事業番号

2023 - 金融 - 22 - 0017

		令和5年度行政事業レビューシート			( 金融庁 )		
事業名	公認会計士試験実施経費			担当部局庁	公認会計士・監査審査会事務局	作成責任者	
事業開始年度	平成16年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務試験課	繁本 賢也	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	公認会計士法第1条、第5条、第38条 等			関係する計画、通知等	-		
政策	Ⅲ 市場の公正性・透明性と市場の活力の向上			主要経費	その他の事項経費		
施策	Ⅲ-2 企業の情報開示の質の向上のための制度・環境整備とモニタリングの実施						
政策体系・評価書URL	<a href="https://www.fsa.go.jp/seisaku/">https://www.fsa.go.jp/seisaku/</a>						
事業の目的(5行程度以内)	本事業(公認会計士試験)は、公認会計士になろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するか否かを判定することを目的としている(公認会計士法第5条)。						
現状・課題(5行程度以内)	公認会計士試験は公認会計士法により毎年1回以上、試験を実施することが義務付けられており、短答式及び論文式による筆記の方法により行うこととされている。現状、公認会計士試験は災害等があった場合を除き、次のスケジュールで実施されている。 ①第I回短答式試験 前年の12月 ②第II回短答式試験 5月 ③論文式試験 8月 令和5年度においては令和5年第II回短答式試験(5月28日)、令和5年論文式試験(8月18日～20日)、令和6年第I回短答式試験(12月10日)を実施予定。						
事業概要(5行程度以内)	公認会計士試験は、短答式試験(年2回実施(※))と論文式試験(短答式試験合格者及び短答式試験免除者等を対象に年1回実施)を実施。公認会計士・監査審査会事務局において、試験問題作成のために試験委員による作問会議を実施するほか、試験委員に論文式試験の答案の採点を依頼している。 ※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、短答式試験が1回のみの実施となったことから、例年と比較して、執行額が低下した。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	67	66	64	64	72
			-	▲1	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	67	65	64	64	72
執行額(G)	44	60	61				
執行率(%) =(G)/(F)	66%	92%	95%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	66%	92%	95%				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	金融政策費			試験問題の出題ミス発生防止や受験者数の増加に伴う試験委員の採点負担軽減を目的とした試験委員増員のため。		
	(目)	委員手当	26	29			
	(目)	諸謝金	25	28			
	(目)	委員等旅費	13	15			
		その他					
	計(A)	64	72				

活動内容① (アクティビティ)		本事業は、公認会計士試験の試験問題の作成・採点を行う公認会計士試験委員に対して、必要な手当等を支出するものである。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		試験問題の作成、論文式試験の採点	試験委員会議出席者延べ人数	活動実績	人	922	1,172	1,218	1,218		
				当初見込み	-	-	-	-	1,218		
↓		短答式試験(年2回実施)及び論文式試験の受験者に対し、試験委員が、必要な学識及び応用能力を有していることが判定可能な質の高い試験問題を作成し提供する必要があるため。									
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
		公認会計士試験受験者への試験問題の提供	試験実施回数(短答式試験2回及び論文式試験1回)※令和3年は新型コロナウイルス感染症の影響により短答式試験の実施を1回としている。	成果実績	回	3	2	3			
				目標値	回	3	2	3	3		
				達成度	%	100	100	100			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
↓		公認会計士試験受験者へ試験問題が提供された後、解答が行われ、試験問題のうち論文式試験について、公平性の確保及び合格者の一定の質を確保する観点から試験委員が高い精度で採点を行う必要があるため。なお、短答式試験はマークシート方式で実施しているため試験委員の採点は不要である。									
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
		答案の採点	論文式試験科目別答案提出数(延べ人数)	成果実績	人	18,575	19,657	20,275			
				目標値	人	18,575	19,657	20,275	23,560		
				達成度	%	100	100	100			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等 該当箇所	名称										
	URL										
	該当箇所										
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		<p>○ 成果目標及び成果実績のとおり、公認会計士試験を、公正かつ適切に実施しているところである。</p> <p>○ 公認会計士試験実施経費(試験委員会議への出席に必要な経費、問題作成等について試験委員に支給される手当及び答案の採点等の諸謝金)の費目・用途は必要なものに限られていることから、予算は適切に執行されていると考える。</p> <p>○ なお、試験委員会議については、出題ミス発生防止の観点からチェック体制の強化を図りつつ、会議の効率的な運営を図る必要があることから、試験委員会議の一部をまとめて同日に開催するなど、必要最小限の開催に努めているところである。</p>					目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)				
改善の 方向性		○ 試験委員会議については、引き続き出題ミス発生防止の観点からチェック体制の強化を図りつつ、安定的かつ機動的な運営のために必要に応じてオンライン会議を併用するなどし、今後も継続して効率的な会議の運営に、不断に取り組んでいく。									



資金の流れ  
 (資金の受け取り先が  
 何を行っているかにつ  
 いて補足する)  
 (単位: 百万円)

金融庁  
 61百万円

委員等への支給

A. 個人A (試験委員)  
 他98人

(試験委員が実施する公認会計士試験問題の  
 作成、校正、採点等の業務)

費目・使途  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに最大の金  
 額が支出されている者  
 について記載する。費目と  
 使途の双方で実情が分  
 かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	委員手当、諸謝金	47.4			
旅費	委員等旅費	13.9			
計		61.3	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.8	その他	-	--	
2	個人B	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.6	その他	-	--	
3	個人C	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.6	その他	-	--	
4	個人D	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.5	その他	-	--	
5	個人E	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.5	その他	-	--	
6	個人F	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.4	その他	-	--	
7	個人G	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.3	その他	-	--	
8	個人H	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.3	その他	-	--	
9	個人I	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.3	その他	-	--	
10	個人J	-	試験委員会議出席手当及び旅費 ・試験問題作成及び答案採点等に対する謝金	1.3	その他	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	